

<企画概要>※企画概要は自由記入でA4・2枚までとなります。

**第55回インナー大会・プレゼンテーション部門**  
企画シート

所属	<input type="checkbox"/> 國學院 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 宮下 <input checked="" type="checkbox"/> ゼミナール		
チーム名	5302		
テーマ	無縁社会の解決		
連絡先① (代表者)	代表者名	中川理佳	
	電話 自宅:	_____	
	形態:	_____	
連絡先② (副代表者)	副代表者名	樋口若葉	
	電話 自宅:	_____	
	携帯:	_____	
参加者氏名	アドレス 携帯:	_____	
	P C:	_____	
	藤波麗 宮澤有佳 宮地智美	(合計人数) 5 名	
使用機材	主催者常備機材	参加者持込(有・ <input checked="" type="radio"/> 無)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PC(PowerPoint 2013)</li> <li>・ プロジェクター</li> </ul>		

※代表者・副代表者名は参加申し込み時とご変更のないようお願いいたします。やむを得ずご変更される場合は必ずその旨をメールにてご連絡ください。また、補足資料で紙以外のものを使用する場合は、何を使うか、どのように使うかを参加者持込欄に記入をお願いいたします。

※一次予選のみ小規模教室にはマイクは御座いませんが他の教室には常備されております。

<企画概要>※企画概要は自由記入でA4・2枚までとなります。

- ・テーマ <無縁社会>
- ・研究の背景 <「核家族化」、「近所付き合いの減少」等が進み、「無縁社会」という言葉が出来た。高齢者単独世帯の増加による孤独死の増加や、子育ての相談が出来ず悩みを抱え込んだ母親の虐待事件等、「無縁社会」の進行が一因となっている社会問題もある事から、無縁社会の解消の一端となるようなビジネスを考える。>
- ・研究の目的 <アクティブシニアと子供の中に絆を作り、無縁社会の解消、そして待機児童解消、シャッター商店街問題の解決の一端にも繋げる。>
- ・研究の流れ
  - (a)現状の把握…他者との関わりを持たない無縁社会が広がっている。特に核家族化が進み子供と高齢者の関わりは減少し、高齢者においては近年の近所付き合いの変化により地域の人たちとの関わりも減少傾向にある。そのため、子供の大人とのコミュニケーション不足や高齢者の孤独死などの問題を抱えている。
  - (b)現在の対策
    - 【無縁社会】
    - ・高齢者の孤独死対策（厚生労働省）  
地方自治体毎に孤立死防止対策等を行っている。  
分類①見守りの実施主体別類型…例：地域の人々、事業者、ネットワーク  
分類②見守りの手法別類型…例：台帳やマップ作りを活用、機器、副次的効果利用、相談窓口の設置
    - ・待機児童問題対策（子ども・子育て支援新制度）  
2015年4月1日に子ども・子育て支援新制度が施行された。  
内容例：都市部における待機児童解消とともに、子どもの数減少傾向にある地域における保育機能の確保を目的とした小規模保育等への給付「地域型保育給付」
  - (c)アイデア・プランの提案  
無縁社会における諸問題を解決しようとする法律や制度は見受けられるが、無縁社会自体を解消しようとする制度がない。  
そこで、無縁社会自体、そして無縁社会に関する諸問題を解決出来るようなプランを提案する。
- ・アイデア・プランの内容  
無縁社会を解消する為には、定年により社会との繋がりが薄くなったが、まだ体力のある「アクティブシニア」と、自ら他人との関わりを作ることが難しい義務教育前後の「子ども」をターゲットとし、特に地域間の絆を取り戻すことが必要であると考えます。

<企画概要>※企画概要は自由記入でA4・2枚までとなります。

その2つのターゲット「アクティブシニア」と、「子ども」を繋げる為に、「アクティブシニア」が働き、「子ども」と交流することで絆を作り、地域社会の絆が存在する代表的な場所「商店街」を繋げる。